



一紫会だより

題字 伊藤嘉夫先生

巻頭ごあいさつ	1
理事長ごあいさつ	2
学長ごあいさつ	3
支部会だより	4
第2回 一紫会アカデミー	5
一紫会 55周年 宝塚貸切レポート	6
はいから茶会	10
おとなの社会科見学	11
花溪 SPIRIT	12
新春浅草歌舞伎観劇会 のご案内	13
オリジナル イラスト紹介	14
総会報告	15
大学・事務局より	16

発行 跡見校友会一紫会

〒112-8629 東京都文京区
大塚 1-5-9 跡見学園
TEL&FAX 03-3941-8642

令和6年9月20日発行

つながろう 一紫会

創立
150
周年
ATOMI GAKUEN

跡見学園創立150周年



「はいからさんが通る」©大和和紀/講談社

ごあいさつ

幹事長
羽吹綾子

一紫会会員の皆様、ごきげんよう。

二〇二四年の幕開きは百回記念の箱根駅伝から始まり、メジャーリーグ大谷翔平選手の活躍、メダルラッシュに沸いたパリ五輪・パリオリンピックなど、世界で活躍する日本のスポーツ選手が笑顔と涙の感動を巻き起こしたように、皆様の中でも日々、金メダル級の物語が生まれ、お健やかにお過ごしのことと存じます。

昨年十月一日、宝塚花組公演『鴛鴦歌合戦』『GRAND MIRAGE』を一紫会全館貸切にて開催いたしました。北は北海道、南は九州・沖縄まで、一回生から五十九回生まで総勢二千八十三名が一堂に会したのは一紫会史上初めてのことで、大変多くの方からお喜びの声を頂戴し、跡見の同窓の輪が沢山の美しい笑顔の輪となり花開き、一紫会創立五十五周年にふさわしい記念日となりました。

開演前のご挨拶で宝塚の舞台に立たせていただいた時、一階前方はもちろん、二階後方まで皆様お一人おひとりの笑顔がはつきりと見え、その瞬間こんなにも沢山の皆様と五十

五周年をお祝いできることが本当に有り難く幸せだと感極まり、涙を必死に堪えてのスピーチとなりました。

一紫会タオルで参加者全員がひとつにつながり、会場が一面ピンクになった奇跡のような光景は今でもはつきりと覚えており、圧巻の一言でした。その時の光景を常々思い出し、いつも皆様から元気の源をいただいております。

「跡見 最高!!」「一紫会 最高!!」

「花組 最高!!」「柚香光さん 最高!!」

大成功の一紫会貸切公演となりました。同窓の輪は、かけがえのない財産です。これからも回生の枠を越えた跡見の美しい笑顔の輪と母校が途絶えることなく永遠に続きますよう願っております。

二〇二五年、跡見学園は学祖・跡見花蹊先生が明治八年に開校してから百五十周年を迎えます。

一紫会では百五十周年を記念し、次世代の歌舞伎界を担う花形俳優が勢揃いする『新春浅草歌舞伎』貸切公演を開催させていただく運びとなりました。来春、一紫会だけのプレミアムな貸切歌舞伎で学園百五十周年を共に祝いし、新春で賑わう浅草の風物詩を満喫いたしましょう。

五月十日には文京キャンパスにて、ホームカミングデーが開催されます。

バック・トゥ・ザ・跡見学園女子大学!!

(Back to the Atomi University !!)

皆様お一人おひとりが映画の主人公のように一瞬で学生時代にタイムスリップし、懐か

しいご友人や恩師との再会の方が心躍る一日となりますよう皆様のご来校を心よりお待ちしております。

一紫会の会員数は三万八千名を超え、栃木と群馬に新たな支部が発足し、全国十四の支部にまで発展しております。支部会が卒業生同士の横のつながりだけでなく、未来の跡見生(Ⅱ受験生)にまで届く縦のつながり強化も必要だと考え、茨城支部会には小仲学長の全面的なご協力の下、職員アンバサダーにもご出席いただき、大学の魅力を発信いただく新たな試みにも取り組むことができました。大学と全国の支部とのつながり強化にも一層努めてまいります。

最後に、大河ドラマ『光る君へ』にちなみ、花蹊先生が「紫式部」に想いを馳せ、詠まれた和歌をご紹介します。

今の世にもてこそはやせ 紫の

筆のにはひのかぐわしき名を

紫色は中世より高貴な色とされ、位の高い者にしか許されない色でした。花蹊先生は宮中の女性師範として高い評価を得、昭憲皇太后より跡見女学校の生徒だけが紫の袴の着用を特別に許され「紫衛門」と呼ばれたそうです。改めて、先輩方より代々受け継がれた跡見ならではの紫にふさわしい、自律し自立した女性を目指してまいりたいと思います。

会員の皆様お一人おひとりが光輝き、希望の種が実を結び、龍が天に昇るよう皆様の夢が実現に向けて大きく飛躍されますよう願っております。ふたたび笑顔でお目にかかれる日まで、ごきげんよう。

跡見学園女子大学の 未来へ向けて

理事長
跡見裕



二〇二五年、跡見学園は創立一五〇年、跡見学園女子大学は六〇周年を迎えます。学園は日本で最も古い女子の高等教育機関として、幅広い人材を育成・輩出し大きな評価を得てきました。もちろん一五〇年の間には様々な問題や課題が生じ、その都度関係者の方々の努力により解決が図られてきました。かつて跡見純弘理事長は、跡見学園創立一三〇周年を迎えたときに、短期大学の廃止と女子大学の充実を図るため新学部・新学科を創設し、これを「第二の開学」と称しました。これになぞらえれば、今跡見学園は創立一五〇周年を迎えて「第三の開学」をめざしているような状況だと思います。この大きな理由は女子大学の入学定員割れの状況が続いていることです。令和三年度から連続する女子大学入学率一〇〇%を満たすことができない状況が生まれ、さらに令和六年五月現在の在学生数は収容定員充足率八〇%を下回る二、六九七人にまで減少しています。こうした状況から跡見学園女子大学が行っている教育研究諸活動が、社会や大学進学希望者の必要に十分に込めることができていないと思わざるを得ません。我々がこれからも大学教育を通じ引き続き有為な人材育成をめざすには、このことを十分に自覚し、厳しい姿勢で跡見学園女子大

学の改革に臨む必要があります。収容定員を確保できない現況は、跡見学園女子大学の社会的存在意義を危うくするだけでなく、学校法人の経営上のリスクをもたらしています。このままでは、女子大学及び跡見学園の存立が危ぶまれます。我々は、行動しなければなりません。私は学園の危急存亡の折、跡見学園女子大学に新しい展望も重要と考えています。これまでの教育内容にとどまらず、社会的必要性の高い分野での教育研究も必要であり、本年二月、理工系人材の育成を視野に「大学・高専機能強化支援事業」への申請を行い、幸にして採択され、十億円以上の補助

が得ることになりました。仮称「情報科学芸術学部」創設により跡見学園女子大学の教育研究の幅を拡げ、その社会的評価の向上を図り、大学進学希望者の期待に応えたいと思います。特に情報科学の領域だけでなく、「芸術」の要素を加えることには、強い想いがあります。この「芸術」とは、コンピュータなどのテクノロジーを使って創作するメディアアートです。理系学部でありながらも、文系的なクリエイティビティも高め、多様なものの見方や表現を学ぶ場を目指します。ご承知のように、創設者跡見花蹊は、明治期に書家・画家として活躍し、教育にいち早く芸術を採り入れました。その学祖の教育精神を現代に受け継ぎ、次代を創造する人材を育てたいと思います。

また四年間を通して都心の茗荷谷にある文京キャンパスで学べるよう、新校舎を建設する予定です。これも大きなチャレンジです。

私立女子大学を取り巻く様々な状況（十歳人口の減少、共学化志向、理工系への

誘導など）は女子大学の存続に大きな影響をもたらしています。女子大学が現在の規模（収容定員数）を維持することは難しく、仮称「情報科学芸術学部」を含む女子大学全体の適正規模の実現を考えています。少なくとも、令和六年度入学者を基にした学生数の維持確保があります。それには何を学べるだけでなく、修学地の利便性も魅力とすべきであり、文京校地への修学地の集約が望ましいのではないでしょう。新座は広々とした敷地で素敵な勉強環境に満ちています。しかし新座校地校舎を利用するための一年間のコストは約二・八億円であり、老朽化の進む施設設備更新費用として毎年数億円がその都度加わります。十億円以上の支出超過（赤字）が続く現状では新座キャンパスを維持することは難しいかもしれません。そこで文京校地に全学生を集約し、跡見学園女子大学で学ぶことの利便性を訴え、志願者増、入学者増を目指すことを考えています。以上を考へ、イ）令和八年度新学部（情報科学芸術学部）開設のために令和六年度に大学設置認可申請等を行う、ロ）文京校地への修学地集約の促進、及び修学支援新制度機関要件の維持のため、令和八年度から既設学部収容定員削減ができるようにする、ことを検討しています。

最初に「第三の開学」と述べましたが、まさに今学園全体が力を合わせて前に進む時です。教職員だけでなく、一繋会をはじめとする同窓会の方々の力強いご協力が必要です。苦しい時期を乗り越えれば、必ずや新しい未来が待っています。何卒宜しくお願い申し上げます。



創立

150

周年

ATOMI GAKUEN

150th Anniversary Atomi

跡見学園は2025年に
創立150周年を迎えます

女子大学で あり続けるために

学長
小仲 信孝



一紫会の皆様、ごきげんよう。

四年間に及んだコロナ禍からようやく解放され、私たちの暮らしは平静を取り戻しました。マスクも行動制限もない日常。見えない病魔に怯えていた日々が嘘のように感じられます。学内でコロナのことを話題にする機会もほとんどなくなりました。

一方、この間に大学の入試状況は激変しました。四年連続で定員割れとなり、卒業生の皆様には多大なご心配をおかけしております。申し訳ありません。

ご存じのように近年、受験生の共学志向の高まりとともに、女子大離れが進んでいます。二〇二三年度入試において私立女子大学の七七%が定員割れを起こしている状況です。そうした女子大をめぐる厳しい現状を反映して、女子大の存在意義そのものに疑問を投げかける「女子大不要論」さえも展開されています。急速に進む少子化が背景にあることはいうまでもありませんが、女子の進路の多様化や意識の変化に対応できていないことが要因であるとの指摘もあります。

加えて本学固有の問題があります。十年来、改革らしい改革をしてこなかった結果、何も発信できない大学、時代に取り残され魅力を感じない大学と評価されている可

能性は否定できません。いずれにせよ、本学は今、時代の強い逆風の中で、岐路に立たされています。これまで経験したことのない厳しい環境にあってどのように存続していくべきなのか、その答えを出さなければなりません。

選択肢は大きく二つあります。一つは共学化です。日本の女子教育が産声を上げて間もない一八七五（明治八）年、跡見花園が「跡見学校」を設立して以来、今日に至るまで跡見学園は一貫して女子教育のパイオニアとして歴史にその名を刻んで来ました。その歴史を大転換して新たな道を歩む、ということも可能でしょう。実際、共学化に活路を求める女子大が増えつつあるのも事実です。ただ、それが本学にとって正しい選択といえるのか。在学生、卒業生はいうに及ばず、跡見学園のすべてのステークホルダーが、果たしてそれを望んでいるでしょうか。

本学が選ぶべき道は女子大であり続けることだと考えています。もちろん、共学志向が高まりつつある現状に鑑みると容易な道ではありません。隘路かもしれません。

大学の四年間は将来を選択するための時間です。多様な選択肢がある中、どのような職業に就き、どのような人生を送りたいかを決定するために自分と対話することが必要です。そのときジェンダーバイアスのない女子大ならば、自然体で自分自身と向き合うことができます。女性にまつわる固定観念に囚われることなく、自分らしいキャリアデザインを実現していくのに適した空間、それが女子大ではないでしょうか。女子大で学ぶ最大のメリットはそこにあ

ります。

本学は女子大であり続けることを選択します。もちろん、現状のままでいいわけではありません。改革は必須です。本学では二〇〇二（平成十四）年にマネジメント学部を創設しましたが、「マネジメント」を冠した日本初の学部でした。男女共同参画社会の到来を先取りし、企業や公的機関などの現場で活躍できる女性の育成を目標に掲げ、社会情勢の変化に応えようとしたものでした。以後も現代文化表現学科の開設（二〇一〇年）、観光コミュニケーション学科の設置（二〇一五年）と、新たな社会的ニーズに即して教育内容を刷新してきました。

女子の実学・理系志向が高まりを見せる中、本学では現在、学びの分野を人文科学系以外にも広げていくべく、データサイエンス&デジタルアートを学ぶ文理融合型の「情報科学芸術学部（仮称）」を令和八年四月に設置する準備を進めています。と同時に、既存の学部学科についても、学生たちの多様な分野への社会進出を後押しできる教育体制へと強化すべく、改組を予定しています。

本学は試練に直面しています。来年、学園創立一五〇周年を迎えるに当たって、立ちどころ困難と危機を乗り越え女子大学として生き残っていくためには、女子大学という空間で学ぶことのメリットを肌身で感じた経験を持ち、在学生、受験生にとっては将来のロールモデルとなる卒業生の皆様のお力添えが是非とも必要です。ご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

跡見校友子女推薦入学試験のご案内

本入試は、本学在学生の姉妹および学園卒業生＜跡見学園女子大学、跡見学園短期大学（跡見学園女子大学短期大学部）、跡見学園高等学校の卒業生＞の子女を対象とした推薦入試です。跡見学園の建学の精神や校風に深いご理解をいただく方々をより多く受け入れることにより、学園の伝統の継承・発展につなげていきたいと考えております。

対象

本学在学生の姉妹および学園卒業生の子女

*入学金については半額免除いたします。 *評定平均値については、他の推薦入学試験に比して優遇措置をとっております。

*出願をご希望の方は、一度入試課（TEL：048-478-3338）までご連絡ください。



第9回中部支部会

2024年2月17日(土)

四間道 matsuura

出席：理事長・会員 23 名

支部会 だより

第1回茨城支部会

2024年2月10日(土)

水戸プラザホテル

出席：学長・会員 44 名・職員アンバサダー 2 名



■乾杯のご発声は跡見理事長



■小中学長&幹事長&支部長との「跡見コール」で乾杯！



茨城支部会 水戸市内観光

2月11日(日)、茨城支部による企画として支部長の酒井様が水戸市内観光ツアーを開催してくださいました。

文武修業の場【一張】の「弘道館」と修業の余暇に心身を休める場【一弛】の「偕楽園」を巡り、陰と陽の世界を体感することができました。ガイドさんの案内もとてもユニークで、梅祭りを満喫することができました。



群馬支部準備会

2024年5月19日(日)

高崎ワシントンプラザホテル

出席：会員 9 名



■(右から)
森京子支部長(9回生)
佐野英子様(9回生)



栃木支部準備会

2023年11月19日(日)

ホテルニューイタヤ

出席：会員 19 名



■(左から)
上野敬子様(5回生)
大竹邦子支部長(7回生)
高橋啓子様(7回生)

第二回 一紫会アカデミー開催

二〇二三年十月四日（土）、「ライフサイクルからみた女性のメンタルヘルス」と題し、宮岡佳子先生（心理学部臨床心理学教授）にご講演いただきました。

進学か就職か、独身か既婚か、子供がいるかないかなど、女性の様々なライフサイクルに応じた心の問題について学ぶことができました。十月十日は世界メンタルヘルスデーです。宮岡先生から学んだ呼吸法と心のセルフケアを日々大切にしてまいりましょう。



■（前列左から2人目）宮岡佳子先生



■ 講義風景

佐佐木頼綱先生イベント 次世代の語り部 定期講話会

二〇二四年七月十四日（日）、佐佐木頼綱先生の戦国歌を伝える活動の一環として、語り部による講話「一筋の光を求めて」、ミニコンサートが千代田区のしょうけい館にて開催されました。

佐佐木頼綱先生の御曾祖父様は佐佐木信綱先生、お父様は佐佐木幸綱先生です。跡見学園女子大学第二学長の伊藤嘉夫先生と佐佐木信綱先生は、視覚障害を負った傷痍軍人たちの和歌や短歌の講義に力を入れ、一〇〇回以上慰問を重ねた後に『戦盲』『心眼』『盲人歌集』という視覚障害軍人の合同歌集を刊行されたそうです。これらの短歌の中には戦中の俳優・作曲家の越谷達之助氏が曲をつけた「戦盲歌」があり、佐佐木先生の解説後、オペラ歌手の神戸蘭子様により歌唱されました。魂の叫びや祈りに満ち溢れているようで、胸打たれるものがありました。

戦争を知らない世代の私たちですが、二度と同じ過ちを繰り返さないためにも、世界平和を強く願い続けることが大切だと感じることができた学びのイベントでした。佐佐木頼綱先生、しょうけい館の皆様にご心よりお礼申し上げます。



■（写真右より）佐佐木頼綱先生・神戸蘭子様



竹柏会「心の花」

<https://kokoronohana.sakura.ne.jp>

竹柏会は、雑誌「心の花」の刊行、全国大会、各地歌会の活動等を通して、自由、清新なる短歌の創作を目指す会です。初学の方の入会も大歓迎です。

令和6年度 会員分布状況

（2024.7月現在）

一紫会には全国に14支部があります。会員の皆様はどの支部会にも参加することができます。支部会開催のスケジュールは決まり次第、ホームページに掲載いたします。

一紫会では運営費全般と会費の一部を援助しております。支部会についてのご意見やご希望をお寄せください。

（メール・郵送にて／宛先はP.16 参照）

総会員数：38,601

有効会員数：27,816

（海外在住・住所不明・物故者を除く）

中国
鳥取県…9 広島県…29
島根県…12 山口県…24
岡山県…37

四国
徳島県…20 愛媛県…27
香川県…25 高知県…10

九州
福岡県…57 大分県…24
佐賀県…9 宮崎県…12
長崎県…22 鹿児島県…30
熊本県…26 沖縄県…10

北陸
富山県…44
石川県…49
福井県…13

甲信
山梨県…85
長野県…225

新潟
新潟県…182
中部
岐阜県…35
愛知県…106
三重県…24

関西
滋賀県…10 兵庫県…80
京都府…31 奈良県…15
大阪府…60 和歌山県…14

関東
埼玉県…9,776
千葉県…3,273
東京都…9,571
神奈川県…1,339

静岡
静岡県…208

茨城
茨城県…822

栃木
栃木県…542

群馬
群馬県…590

東北
青森県…42 秋田県…46
岩手県…32 山形県…60
宮城県…69 福島県…142

北海道
北海道…130

LINE

一紫会公式 LINE
ご登録を！



観劇会等のイベントは開催時期により一紫会公式 LINE にてご案内させていただく場合がございます。是非この機会に一紫会公式 LINE をご登録ください。



会員番号を
お控えください

住所変更やイベント申し込みの際に必要です。会員番号は一紫会だよりの封筒宛名下に印字してあります。お電話でのお問い合わせはご遠慮ください。



イベントスタッフ
募集

一紫会イベントの際にお手伝いいただける方を募集しています。不定期に直接ご案内いたします。氏名・生年・電話番号を明記のうえ issai-kai@atomi.ac.jp へお送りください。メールアドレスは「イベントスタッフ」。

一紫会創立55周年記念 「宝塚歌劇」花組 貸切観劇会

オペレッタ・ジャパネスク『鴛鴦歌合戦』
ネオ・ロマンチック・レビュー『GRAND MIRAGE!』

2023年10月1日(日) 11:00 開演



©宝塚歌劇団



「跡見校友会一紫会」名入りの
特別貸切チケット



■(手前より) 小仲学長・跡見理事長・松井校長



■当選通知は宝塚
大劇場のレビュー
消印♪



■幹事長挨拶

『鴛鴦歌合戦』のプロローグは暗転の中で緞帳が上がり、チョンパ(拍子木の「チョン」という音に続いて照明が「パッ」と会場が明るくなる)からはじまり、トップスターの柚香光さんをはじめとする花組の皆さんが艶やかな着物と番傘で登場されたお姿に、ワァー!という歓声が沸き起こりました。軽快なリズムの主題歌と共に一紫会独自の

ではないでしょうか。
開演十分前には羽吹幹事長の挨拶があり、一紫会オリジナルタオルを参加者全員が胸の前に広げ、「跡見最高!!」「一紫会最高!!」のコールで会場全体が一体となり、跡見の奇跡の団結力を皆様も感じていただけたのではないのでしょうか。

二〇二三年十月一日(日)、一紫会創立五十五周年を記念し「宝塚歌劇」花組貸切観劇会を開催いたしました。
この貸切公演には、一紫会史上初となる総勢二、〇八三名が東京宝塚劇場に集結いたしました。開演前のロビーや客席では、先生方と挨拶を交わすお姿や久しぶりの再会に涙や笑顔するお姿、記念撮影をするお姿等々があらゆるところで見受けられ、大変嬉しく胸がいっぱいになりました。

開演十分前には羽吹幹事長の挨拶があり、一紫会オリジナルタオルを参加者全員が胸の前に広げ、「跡見最高!!」「一紫会最高!!」のコールで会場全体が一体となり、跡見の奇跡の団結力を皆様も感じていただけたのではないのでしょうか。



手拍子が自然に起こり、幕開きから大変盛り上がりました。
劇中、カランコロンと下駄の音が聞こえたかと思えば、柚香光さん演じられる浅井礼三郎さんの客席降りもあり、そこでも驚きの歓声が起こりました。
映画の世界観そのままに、宝塚の華やかさと軽快なジャズに乗せた『鴛鴦歌合戦』は、笑いあり、涙あり、ハッピーエンドのオペレッタ喜劇で、宝塚初心者の方にもわかりやすく楽しかった!とお声を多数いただきました。

レポーター『GRAND MIRAGE』は、お芝居とはまた違う宝塚ならではのロマンチックな美しさと華やかさに溢れ、男役は雄々しく、凛々しく。娘役は可憐に、美しく。『ザ・宝塚』の世界に一瞬で引き込まれました。

中詰め「シボネー・コンチエルト」の場面では、柚香光さんがなんと!「跡見!!!」というアドリブを何度か入れて下さり、その度に客席からは「キャー!!!」と歓喜の声も上がり、盛り上がり最高潮に達し、拍手がしばらく鳴りやみませんでした。

終演後には大きな羽根を背



■新潟支部



■跡見バレエ部



負った柚香光さんから特別にサ
 プライズのご挨拶がありました。
 「皆様、本日は跡見校友会一
 紫会貸切公演にお越し下さいま
 して誠にありがとうございます
 た。暖かな拍手と時には歓声
 もいただき、ありがとうございます
 ました」と跡見の皆様のキラキ
 ラした瞳や拍手、声援などを受
 け取っていただけたように感じ
 ました。
 「主催者様のお言葉にもあり
 ましたが、『はいからさんが通
 る』でトップお披露目公演をし
 ました。はいからさんのモデル
 の跡見女学校さんに貸切公演を
 していただきまして、個人的に
 も本当に嬉しく思っております
 』と大変嬉しいお言葉もいた
 だきました。「ちよっと汗をか
 いてしまったので」とタオル
 で汗をふくような仕草をし、タ
 オルを広げると、なんと柚香光
 さんの手には一紫会タオルが！
 会場からはまた悲鳴に近い歓声
 が！そして「タオルは皆様とお
 揃いでございます」というお言
 葉もいただき、客席からは「最
 高！」との声もあがり、後日会
 員からは「このタオルを家宝に
 します」とのメールもいただき
 ました。柚香光さんの細やかな
 優しいお心遣いに感謝の気持ち
 でいっぱいになりました。



■ 母と2人で



■ 跡見 LOVE



■ 憧れの赤絨毯



■ 支部長の皆様&幹事長

「気をつけてお帰りください」と緞帳が下りる最後の最後までタオルを広げて、手を大きく振って下さった特別大サービスの柚香光さんはじめ花組の皆様に向け、会場からは鳴り止まない感謝の拍手が沸き起こり、皆様興奮状態で劇場を後にしていってしまいました。

宝塚歌劇、東京宝塚劇場の関係者の皆様、そして花組の皆様様に十月一日跡見校友会一紫会貸切公演をさせていただきまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

貸切公演後、数えきれないほどのメールやお手紙が殺到いたしました。ありがとうございます。宝塚を初めて観た方も多く、「すっかり宝塚にハマってしまいました。または是非お願いします」との声が多数あり、宝塚ファンの方からも「今まで観た宝塚で一番楽しかった!」とお声を頂戴いたしました。皆様お一人おひとりのご参加があってこそ、この日の感動、跡見の一体感を味わうことができました。ご参加くださった皆様、そして、前日、当日のお手伝いをしていただいた皆様、関わって下さったすべての皆様に感謝の気持ちを込めまして、心より本当にありがとうございました。

映画『SENSEKI』撮影記念 一紫会 × 跡見学園女子大学「はいから茶会」

江戸時代の蘭学者で、下総国古河藩の家老を務めた鷹見泉石を描いた映画『SENSEKI』（来年公開予定）の撮影場所となった鷹見泉石記念館にて、2024年4月21日(日)、はいから茶会を開催いたしました。

古河市の針谷力市長、吉田浩康教育長、前文部科学大臣の永岡桂子先生もお見えになり、はいからさんの袴姿や着物の在校生・卒業生、古河市民の方々など、総勢120名が華やかに集い、茨城新聞や古河ケーブルテレビのメディア取材もありました。

跡見の茶席は女流画家・奥原晴湖の画室「繡水草堂」にておこなわれ、跡見の校章「桜」をイメージした干菓子、茶碗から棗、水指などすべて「桜」＝「跡見」で統一し、小山市立車屋美術館より特別にお借りした学祖・跡見花蹊先生のお軸「山水図」に思いを馳せながら、五感で茶の湯を楽しまれている様子でした。

このはいから茶会を開催するにあたり、多大なるご協力をいただいた鷹見家第11代当主・鷹見本雄様、お軸の解説をして下さった横田恭三先生、席主の茨城支部長・酒井邦子様、城井万美代様、そして一紫会とのコラボ企画にご賛同くださいました跡見学園女子大学に心より感謝申し上げます。



■ 鷹見家第11代当主 鷹見本雄様を囲んで



■ 観光デザイン学科3年
竹田あみ様・藤本真礼様



■ 塩月副学長・古河市副市長・永岡桂子先生
(写真右より)

大学との 広報戦略プロジェクト



■ (写真右) 塩月副学長

「令和のはいからさん」活動支援として大学に袴・着物一式を寄贈させていただきました。

紫祭では袴の着用に行列ができ、着付けが3回転したほどの大盛況で、お写真と共に喜びの声も沢山頂戴しております。

跡見初の大学ラッピングバス登場！！



【一紫会おとなの社会科見学】鉄道開業 150 周年記念 老川慶喜先生と巡る鉄道博物館ツアー

2024年3月15日(金)、鉄道開業150周年を祝して、私鉄発祥の地・埼玉県にある鉄道博物館にてツアーを開催いたしました。

ご案内いただいたのは、鉄道界の巨匠・老川慶喜先生です。初心者やお子様にもわかるように鉄道の歴史や列車について詳しく丁寧にご説明いただき、鉄道への興味、知識が広がりました。『鉄道唱歌』が跡見の大和田建樹先生(跡見学園校歌『花桜』作詞者)により生み出されたことも教わり、『鉄道唱歌』のメロディが頭の中でぐるぐると流れておりました。

運転士体験教室では、時速85kmの走行列車をブレーキ操作する体験をしました。本物さながらの電車を操作する気分を味わえ、皆様夢中になってブレーキ操作する姿が印象的でした。

昼食は、トレインレストラン日本食堂で「食堂車のビーフカレー」をいただきながら、会話が花が咲きました。

車両ステーションには明治・大正・昭和を経て活躍してきた本物の電車が36両もずらりと並んでおり、その姿は圧巻で、ワクワクがとまりませんでした。参加者の皆様と「敬礼ポーズ」で記念撮影をするなど、アットホームな雰囲気でお老川先生と鉄道博物館を巡ることができました。老川慶喜先生、ありがとうございました。



■運転士体験



■永岡桂子先生との記念撮影



【一紫会おとなの社会科見学】 国会議事堂プレミアムツアー

2024年5月31日(金)、国会議事堂プレミアムツアーを開催いたしました。

ステンドグラスが美しい中央広場、本会議が開かれる衆議院議場、天皇陛下の御休所。そして目玉の予算委員会などを行う第一委員室、総裁室、衆議院議長公邸等々、さまざまな場所を特別に見学させていただきました。

会員の情報によりますと、万歩計は、なんと8,000歩超だったそうです！ご参加下さった皆様は大満喫のご様子で、またこのようなプレミアムなツアーを期待しています！とのお声も多数頂戴いたしました。

この国会議事堂プレミアムツアーを開催するにあたり、はいから茶会でご縁いただきました前文部科学大臣・永岡桂子先生、経済産業副大臣・岩田和親先生、卒業生で秘書の大塚陽子様、事務所の方々にこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

【富士見市協定締結】跡見学園女子大学 × 一紫会 『赤いハートと蒼い月』特別観劇会



■青木陽子様 (中央着座)・能條愛未様 (右)・北翔海莉様 (左)

※一紫会観劇者は希望者のみ

跡見学園女子大学が包括連携協定を締結している埼玉県富士見市後援の舞台『赤いハートと蒼い月』を2024年5月18日(土)富士見市民文化会館キラリ☆ふじみメインホールにて観劇いたしました。

視覚障害者である日本人女性の主人公が中国の地で日本語学校設立に奮闘する物語。厳しい状況下にあっても前を向き、絶対に諦めない主人公の姿勢に心を打たれつつ、改めて福祉に関心を寄せる契機にさせていただいたのではないのでしょうか。

終演後、一紫会の観劇者は特別にステージに上がり、この作品のモデルである青木陽子様と主人公を演じられた能條愛未様、出演者で元宝塚星組トップスターの北翔海莉様と一緒に記念集合写真を撮影させていただきました。格別のお取り扱いを賜りました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

花 蹊 SPIRIT

七回生英文 中国支部長 松浦啓子様

ご寄稿

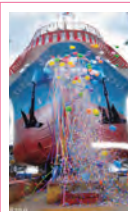
私は三姉妹で姉は薬剤師、妹は跡見十三回生です。妹は卒業後商社に勤務して、夫と長い間イギリスに駐在していました。またレディング大学で日本語講師もしていました。今は東京に帰り外国人に日本語を教えています。私は跡見を卒業して、すぐ結婚をしました。

時は流れ子育ても一段落した頃松浦造船船に出勤するようになりました。

大崎上島町商工会の女性部長を仰せつかり、今は豊田竹原法人会女性部会長をしています。先日広島市で法人会全国大会があり二千人もの人が集結しました。役職が人を育てると言われていますが正に育ててもらっています。七十を過ぎましたが一生勉強だと思って頑張りたいと思います。



■ 法人会全国大会 (写真中央が中国支部長 松浦啓子様)



■ 松浦造船建造船

三十九回生人文 丸子純様

ご寄稿

この度全学部の一年生を対象とした講義「花蹊の教育とライフプラン・キャリアプラン」の卒業生講演にお声がけいただき、オンデマンド配信型による遠隔授業を実施いたしました。今回「卒業生のマイライフ」をテーマに私の学生時代から社会人になった現在までのお話をさせていただきます。

私は跡見卒業後に新卒入社したIT企業に勤務し続け、現在は人事・教育を担当しており、年々離れていく新卒生との年齢や考え方を、どう理解しギャップを埋めていけばいいのかが課題です。講演終了後の学生さんから届くレポートには、共感や悩み、気付きなど等身大の感想が書かれており、学生さんのリアルな心境を知ることができ、私にとっても多くの学びを得る機会となりました。

跡見での学びや出会い、経験が今の私を構成しているように、学生の皆さんにも跡見での四年間がより充実したものとなるきっかけになれば幸いです。



十三回生美学 小川早苗様

ご紹介

はいから茶会にて、学祖・跡見花蹊先生の大変貴重なお軸「山水図」をお貸しくださいますした小山市立車屋美術館の小川早苗様を訪問させていただきました。

茶席では、花蹊先生のお軸を皆様目で楽しまれ、会話も弾み、お蔭様で大変喜んでいただきました。快くご対応いただきました小川早苗様に心より感謝申し上げます。

小山市乙女に所在する小川家は、江戸時代から明治時代にかけて乙女河岸で肥料問屋を営んでいた豪商で、鉄道の発達に伴い、明治末年現在の地に移転しました。現存する建造物のうち主屋・土蔵・表門・米蔵・肥料蔵の五棟は、乙女河岸の繁栄を伝える貴重な遺産であると同時に近代和風住宅としての価値も高く、平成十九年八月に国の登録有形文化財として登録されました。小山市ではこの貴重な建造物の活用を図るため整備を進め、平成二十二年四月、小山市立車屋美術館として開館いたしました。皆様も近くにお立ち寄りの際は、車屋美術館に足を運んでみてはいかがでしょうか。



■ 小川早苗様

小山市立車屋美術館

栃木県小山市乙女 3-10-34
http://www.city.oyama.tochigi.jp
0285-41-0968
JR 宇都宮線「間々田駅」西口より徒歩 5 分
休館日：毎週月曜日



■ 車屋美術館全景



■ 車屋美術館入口

跡見学園創立150周年記念

一紫会
貸切

『新春浅草歌舞伎』

観劇会のご案内

日時：2025年1月12日（日）

第一部 11時開演

（公演は休憩含め約3時間予定）

場所：浅草公会堂

出演：中村橋之助・中村鷹之資・中村蒼玉・

中村玉太郎・市川染五郎・尾上左近・中村鶴松他

演目：鋭意選定中

※演目発表は10月中旬頃になる見込みです

松竹ホームページよりご確認ください

お申し込み方法

メール・ハガキ・FAXにて「歌舞伎」と題し、①～⑪をご記入の上お申し込みください

①希望人数

②希望席種（第3希望まで可）

例 第1希望「1等席」・第2希望「2等席」・第3希望「3等席」

③会員番号（『一紫会だより』封筒宛名下のNo.）

※宛名出力のためご協力ください

④氏名（※必ずフリガナ）

⑤回生

⑥住所

⑦当日連絡可能な電話番号

⑧メールアドレス

⑨同伴者全員の氏名・回生（または年齢）

（※全員の記載がない場合、無効となります）

⑩落選の場合、キャンセル待ち希望の有無

⑪当日お手伝い（観劇前の時間帯に誘導・配布等）いただける方は「お手伝い希望」と記載

締切：10月6日（日）

※当日お手伝いをお願いする方には11月初旬頃までに詳細をメールにて連絡させていただきます

特選お好み弁当(2,100円)お土産付

1等席 9,500円(1・2階)

2等席 6,000円(2階)

3等席 3,000円(3階)



特選お好み弁当
写真はイメージです

+

送料 600 円（簡易書留郵便+諸経費）

会員 + 同伴ご家族3名まで

会員同士は同グループ何名様でもお申し込み可能

※追加や別々にお申し込みされた場合、お隣同士の席にすることはできませんのでご注意ください

お申し込み先

跡見校友会一紫会

〒112-8629 東京都文京区大塚1-5-19

メールアドレス：ischi-ka@atom.ac.jp

FAX：03-3941-8642

※松竹へのお問い合わせはご連絡ください

【注意事項】
厳正なる抽選の結果、10月23日水ご当選された会員（代表者）のみに入金方法・詳細等をご案内（普通郵便発送）いたします。
変更やキャンセルはできませんので、ご注意ください。
※先着順ではございません。

◆ご応募はお一人様につき一回です。複数回ご応募された方、代表者を代えての重複応募は無効とさせていただきます。

◆座席の指定はできません。抽選させていただきます。

◆応募状況に関するご質問、抽選方法、当選結果、座席、公演等に関するお問い合わせは一切お答えいたしませんので、予めご了承ください。

◆チケット不正転売禁止法により、転売・オークション出品や換金は固く禁じます。転売や出品および換金を確認された場合は入場をお断りし、退会させていただきます。跡見の名に恥じようご協力をお願いいたします。

◆公演が中止になった場合、チケット代金以外の費用（交通費・宿泊費・送料等）の補償はございませんので、予めご了承ください。



中村鷹之資 中村玉太郎 尾上左近 中村鶴松 市川染五郎 中村蒼玉 中村橋之助

15回美学Bクラス会

会員だより

十五回生美学 寺澤美砂絵様

ごきげんよう！

美学美術史学科卒十五回生B組の第二回クラス会を二〇二三年十一月十七日（金）上野池之端東天紅朱雀の間に、二十三名の参加を頂き開催致しました。

例えば二〇二〇年東京オリンピックの開催は、私たちの還暦にあたり、その年に計画していた矢先にコロナ禍で延期になり、ようやく念願が叶いました。

やはり美学です。創作活動、美術展巡り等人生の中で、美術好きで一致していました。

都合で欠席の方を含めて、人生一〇〇年時代に大好きな美術について語り合える仲間の復活です。これが一番の宝物となりました。タイムリーなことに、二日後十九日（日）に跡見創立一五〇周年の新聞広告が出て、『はいからさんが通る』のイラストが私たちを勇気づけてエールを与えて下さいました。これから先、美学卒らしく老いてもハイカラ

でモダンな精神の豊かな人生を送りたいと皆で願いました。そんな人生を与えて下さった、在校時にお世話になった美学の先生方に、感謝し

かありません。



一紫会オリジナルイラスト

広報戦略の一環として一紫会オリジナルのイラストを初音ミクやサンリオ、『鬼滅の刃』とのコラボでも有名なプロの上倉エク先生に描き下ろしていただきました。上倉エク先生の可愛い世界観は受験生世代からも厚く支持されています。今後一紫会の広報ツールとして広く使用させていただきますので、お楽しみに。



朗読コンテスト



文の京ゆかりの文化人顕彰事業 「朗読コンテスト」優秀賞受賞！

2023年11月5日(日)、「朗読コンテスト」で、心理学部臨床心理学科4年生の長井祐香様が青少年の部で優秀賞を受賞いたしました。

長井様からは「優秀賞という素敵な賞をいただき、大変嬉しく思っております。本番を楽しむことができたのは、跡見学園女子大学の皆さんとご縁がよかったことだと改めて感じています。本当にありがとうございました」というコメントをいただきました。

優秀賞、おめでとうございます!!



長井祐香様

大学謝恩会

2024年3月19日(火)の大学謝恩会には羽吹幹事長が出席し、一紫会からお祝いのバルーン花とディズニーキャラクターを56回卒業生の皆様にお届けいたしました。

塩月ゼミ生 記念撮影!!



跡見理事長を囲んで



(左から)
謝恩会実行委員長：南菜月様(3年)
篠塚汐莉様(4年)・鈴木桃花様(3年)



総会報告

令和六年六月二十三日(日)一紫会幹事総会を開催いたしました。会場として利用させていただきました「梅の花」上野広小路店様のきめ細やかなご配慮とご出席のクラス幹事の皆様のご協力により、滞りなく進行し、全ての議案について可決されました。



■総会風景



学生会・紫祭実行委員会へ活動費を支給



2024年6月6日(木)
紫祭実行委員長(写真左)
マネジメント学科3年
角田美羽様

学生会会長(写真右)
マネジメント学科3年
坂本彩乃様



2023年6月19日(月)
学生会会長(写真左)
コミュニケーション文化学科3年
新井聖美様

紫祭実行委員長(写真右)
マネジメント学科3年
櫻井心羽様

新幹事紹介

本年度第五十六回卒業生より、左記の方々が一紫会幹事をお引き受けくださいました。
(敬称略五十音順)

《文学部》

◆人文学科

柿沼美月・権田彩瑠

◆現代文化表現学科

小泉花実・武田笑佳

◆コミュニケーション文化学科

清水菜那美

《マネジメント学部》

◆マネジメント学科

伊藤梨乃・小林愛奈美・篠塚汐莉

島田柚紀・皆川友奈・与那覇萌

渡辺綾乃

◆生活環境マネジメント学科

浅川夏絵手・武智月

《観光コミュニケーション学部》

◆観光デザイン学科

小澤和佳奈・丸山夢可・山崎瑠姫

◆コミュニケーションデザイン学科

徳田華波・森本千桜

《心理学部》

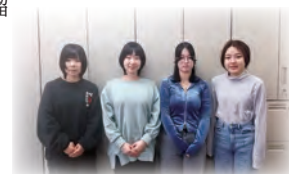
◆臨床心理学科

岩崎ひかる・餌取采夏・村上鈴菜

一紫会ロゴを施したモバイル充電器を卒業記念品として卒業生に贈呈いたしました



2024年3月18日大学卒業式に壇上花を贈呈しました



■2024年3月8日56回生
お顔合わせ会

跡見校友会一紫会 令和5年度決算報告

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 31 日

(収入の部)					
	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
収 入	会 費	17,280,000	17,480,000	200,000	874 名
	事 業 収 入	10,000	56,100	46,100	
	受 取 利 息	200	74	△ 126	
	前 年 度 繰 越 金	3,604,267	3,604,267	0	
合 計		20,894,467	21,140,441	245,974	
(支出の部)					
	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
事 務 費	通 信 費	4,000,000	4,040,642	40,642	
	印 刷 費	2,000,000	2,307,867	307,867	
	企 画 費	3,400,000	1,927,055	△ 1,472,945	
	記 念 品 費	2,700,000	2,066,460	△ 633,540	
	慶 弔 費	100,000	35,420	△ 64,580	
	校友会入会金	329,100	329,100	0	1,097 名
	交 通 費	1,000,000	588,276	△ 411,724	
	人 件 費	3,300,000	2,092,000	△ 1,208,000	
	会 議 費	200,000	87,321	△ 112,679	
	交 際 費	300,000	238,359	△ 61,641	
	備 品 費	50,000	255,200	205,200	
	消 耗 品 費	200,000	272,835	72,835	
	監 査 費	60,000	60,000	0	
	雑 費	100,000	69,552	△ 30,448	
	予 備 費	55,367	0	△ 55,367	
奨 学 金	大学院奨学金	600,000	416,850	△ 183,150	
	修学援助金	1,000,000	1,031,150	31,150	
	海外研修助成金	1,500,000	1,480,000	△ 20,000	
小 計		20,894,467	17,298,087	△ 3,596,380	
本年度剰余金		0	3,842,354	3,842,354	
合 計		20,894,467	21,140,441	245,974	

全 会 員 数 : 38,601 名
終 身 会 費 預 り 金 : 50,080,000
終 身 会 費 積 立 金 残 高 : 20,517,762
※ 終身会費積立金から3,685,975円を一紫会55周年記念事業に
充当しました

跡見校友会一紫会 令和6年度収支予算

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(収入の部)			
	科 目	予 算 額	備 考
収 入	会 費	15,460,000	773 名
	事 業 収 入	10,000	
	受 取 利 息	1,000	
	前 年 度 繰 越 金	3,842,354	
合 計		19,313,354	
(支出の部)			
	科 目	予 算 額	備 考
事 務 費	通 信 費	2,000,000	
	印 刷 費	1,800,000	
	企 画 費	3,300,000	
	記 念 品 費	2,250,000	
	慶 弔 費	100,000	
	校友会入会金	309,900	1,033 名
	交 通 費	1,000,000	
	人 件 費	2,800,000	
	会 議 費	400,000	
	交 際 費	200,000	
	備 品 費	50,000	
	消 耗 品 費	250,000	
	監 査 費	60,000	
	雑 費	100,000	
	予 備 費	93,454	
奨 学 金	大学院奨学金	600,000	
	修学援助金	1,000,000	
	海外研修助成金	1,500,000	
積 立 金		1,500,000	
合 計		19,313,354	

創立

150周年

ATOMI GAKUEN

跡見学園150周年

ホームカミングデーのご案内

日時:令和7(2025)年5月10日(土) 13:00~16:00

場所:跡見学園文京キャンパス

当日の詳細、参加方法等は、令和6(2024)年12月発行予定の学園広報誌「ブロッサム」に掲載されますので、是非ご高覧くださいませ。

MEDIA

ちよつとメディア

梅宮創造先生

◆『千無のまなび』

—小沼丹氏にふれて—
彩流社
二〇二四年四月五日



神野藤昭夫先生

◆『紫草書屋文集』

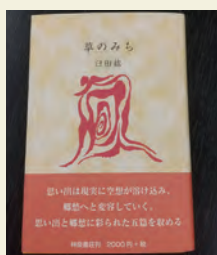
—往きて往かざる日々—
花鳥社
二〇二四年四月十五日



白田紘先生

◆『草のみち』

林泉書荘
二〇二四年四月三十日



小川(西野)里枝様(二十二回生美学)

◆『藍染めのアポレンカ』

作:ロマナ・コシュトコヴァー
絵:ヴェロニカ・ヴルコヴァー
ヤン・シュラーメク
訳:小川里枝
求龍堂 二〇二三年十一月



退職された先生方

文学部現代文化表現学科教授
富川淳子先生

心理学部臨床心理学科教授
阿部洋子先生

文学部人文学科教授
加藤大鶴先生

マネジメント学部マネジメント学科教授
禿あや美先生

マネジメント学部マネジメント学科講師
郷香野子先生

訃報

元文学部教授
竹内壽先生
令和五年五月二十五日
享年九十七歳

名誉教授
中谷幸弘先生
令和五年十月二十六日
享年七十八歳

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

住所・氏名の変更方法

以下の内容を記入し、住所変更と題して下記の一柴会事務局までメール・封書・ハガキでお送りください。

1 会員番号(分かる場合のみ記入。『一柴会だより』が届いている方は、封筒宛名の下のNoです。)

2 卒業回生・学科名・クラス(回生が不明な場合は卒業年でも可)

3 氏名(フリガナ)

4 旧姓(フリガナ)

5 現住所(郵便物を受け取ることができる連絡先。郵便番号必須・様方など)

6 電話番号(携帯可)

跡見校友会一柴会

各種お申し込み・ご連絡先

〒112-8629 東京都文京区大塚 1-5-9 跡見学園 FAX:03-3941-8642

ホームページ: <https://ak-issshikai.com/> メールアドレス: issshi-kai@atomi.ac.jp

印刷製本: 株式会社サンワ

